

福田寺本尊

薬師如来さま

福田寺のご本尊様は薬師如来（お薬師さま）です。このお薬師さまという仏様は、観音様や、お不動様や阿彌陀様と同じように、古来から日本人にたいへん信仰された仏様ですが、その信仰の有り方で、他の仏様と少し異なっているような気がしません。「熱心な観音信仰」「熱心な不動信仰」「熱心な阿彌陀信仰」といった信仰の有り方は、しばしば耳に

発行 55

神奈川県小田原市飯田岡二五七

飯田山 福田 田 寺 36-27

住職 橋本尚信

するのですが、「熱心な薬師信仰」とは、あまり聞かないのです。これはどうしてなのでしょうか。

先ず薬師如来の成り立ちから考えてみましょう。薬師如来は、死を招く病に打ち勝つ力を与えてくださる仏として出現しました。そこから、広く身にふりかかる災難から逃れ、又、財宝・福德を得られるという利益を産み出す仏様として信仰される

ようになったのです。つまり現世利益の如来として、多くの信仰を集めたのであります。

現世利益は、ともすると功利主義実用主義といわれるような考え方と同一視され、日本人の多くはあまり感心したものとして受け止めていません。仏教思想から見ても、現世利益は、大衆を教化するための方便的なものとして成立したもので、本来の仏教的思想、教理の面から、重要視されなかったようであります。

その為に、お薬師さまを信仰するにも、あまり直接的な表現を持つことなくきたように思われます。

しかし、直接的ではなくとも薬師信仰が、日本人の中で連綿と、しかもかなり根強く信仰されてきたのはやはり、宗教というものが崇高な教理だけでは意味をなさず、人々の心底からの願い、悩み、苦しみを、真正面から受け止めてくださる仏様が

必要であつたのではないでしようか
しかも密教にあつては、現実を肯定
するのですから、むしろもっとお薬
師さまと直接に対面して、自分をさ
らけ出して、おすがりしても良いよ
うな気が致します。

真善宗の根本教典である「大日経」
には、「菩提心を因と為し、大悲
を根本となし、方便を究竟となす。
」という三句の法門といわれる、大
日経の心髓をなす句がありますが、
これは、菩提心を種子（因）として
大悲の根（根・茎・葉・）を生
じ、方便たる果実を至らしめるとい
うことですが、又その果実から種子
が生じ、限りなく行ぜられてゆく
ということ。詳しい説明は別の機
会にゆずると致しまして、ここで、
方便が究極のものであると述べてい
ることに注意して頂きたいと思いま
す。真言密教の中心思想が方便にあ

るといふことです。私たちが普だん
使っている意味とはだいぶ感覚が違
っているようです。この考え方の根
底には、衆生界即ち法身、我即大日、
梵我一如、即身成仏といった言葉で
説明されますような、迷える衆生そ
のままが涅槃の境地であるという考
えがあると思ひます。

正に現世利益は、迷える衆生（我
々）の心身を癒してくれるものでは
が、それを求める我々は、そのまま
で仏の姿であるといふのです。

話が随分と遠回りをしてしまいま
したが、現世利益を求めることは、
決して卑しい事ではなく、まちがっ
た事でもなく、人間であるいじょう
至極当然のことであるのです。

現世利益の代表的如来である薬師如
来さまに、私たちはもっと直接にお
願いをし、おすがりをしてても良いの
ではないでしようか。

薬師護摩供養△△ 開催のおしらせ

以下の要領で薬師護摩供を修行致
しますので護摩祈禱を御希望の方は
お申し込み下さい。

記

期日・・・一月八日、午後一時より

祈禱料・・・三千元

祈禱内容

身体健全・・・何時も健康で有り
たいと願う方

厄難消除・・・厄除け

病魔退散・・・病氣、けが等を早

く治したい方

申し込み方法・・・一月七日まで

電話でも可

集

客殿新築工事進行

特

—— 仮設庫裏完成・整地終わる ——

客殿新築の進行状況をご報告致します。

客殿新築場所を整地するため、庫裏の一部を取り壊し、影響のない所に一部屋根に増築をしました。この工事が一通り終わり、現在客殿敷地の整地を行う段階になりました。年があらたまりましてから、具体的に進めてゆくことになりました。

新本堂は畳が入り、木の部分の洗いを服部棟梁が自らやってくれました。このようなことは、めったにしないことのように、ここにも福田寺の本堂に対する気構えを知らされた

気が致します。

これで本堂の本体工事は、全て滞り無く終了することが出来ました。是非お参りの折りにご覧下さい。

☆ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 ☆ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 ☆ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 ☆ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

本堂の本体工事が完成し、工事は客殿建設に移行することになりましたが、それと平行して、内陣（ないじん）の荘厳（しょうこん）を進めて行く段階となりました。お檀家さ

んの中には気を遣ってくれて、本堂建設の寄付とは別に、仏具料として多額の寄付を申し出てくださる方がありますことは、本堂に有り難く、皆様の御先祖を敬う気持ち、又菩提寺を思う気持ちを改めて感じ入る次第です。

さて、内陣の荘厳について、概略を述べたいと思います。

真言宗は、曼陀羅（まんだら）を基本とする仏教でありますように、本堂の内陣も又、曼陀羅の世界を具現する場所である訳です。一たび内陣に足を踏み入れたら、そこは佛の世界、密厳浄土（みつごんじょうど）であると感じ入る場所なのです。その為に、様々な荘厳具が必要になってくる訳ですが、中でも中心をなすものは、大壇（だいだん）という真ん中の大きな壇であります。

現在、服部棟梁にお願いして、この大壇をケヤキの無垢材で製作すべく検討しております。

その他の主な荘厳具としては次のようなものが有ります。

一、天蓋(てんがい) ・ 大壇の上

に垂れ下がる飾りのついた蓋

(かさ) (寄付済み)

一、幟幡(どうばん) ・ 両脇に垂

れ下がる幟(はた)

一、宮殿(くうでん) ・ 御佛を納

める社

一、前机(まえづくえ) ・ 本尊と

大壇の間にあつて、香炉や灯

明や木蓮華を飾る台

一、四面器(しめんき) ・ 大壇の

上に置かれる種々の仏器

一、吊燈籠(つりどうろう) ・ 天

井から吊り下がった燈籠

この他にも揃えなければならぬ物は種々ありますが、基本的な物が

っていけば、残りは逐次整えていけば良いと思つています。

以上の如く真言密教の道場は、曼陀羅世界の具現という理論にもとづいて荘厳するのであつて、一つ一つの仏具にも様々な意味が込められており、しかも全体が調和のとれた清浄なる聖域を表現したものであります。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

元旦祈願

午前0時より1時まで
毎年、住職一人で勤行がなされて
います。本堂を開けて、ご自由に
初詣ください。

* * * * *

古いお守りやお札は暮れのお参りの時に所定の場所に置いて下さい。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

お大師さまのおしえ

真理そのものは不変である。それを求める人にしたがつて、かくれたり、現れたりする。(御請来目録)

つねに以前の心の世界にとどまらない。だから心には自体の性質はないというのである。(秘蔵宝鑰)

草木さえも成仏するのだから、どうして生けるものが成仏しないことがあるのか。(卍字義)

道はおのずから弘まるのではない。道が弘まるには必ずその人をえなければならぬ。(広付法伝序)

地獄はどこにあるだろうか。それは自分の心の中にあると誰がみるものがあるか。(十住心論)